

# 必ず起こる大災害へ備える

- システム崩壊、トイレ問題、健康被害を考える -

日時:11月14日(木)13:30~15:00

場所:海津市平田町三郷493

(株)日本環境管理センター 大会議室

定員:50名(定員になり次第締め切らせていただきます。)

## プログラム1 (講師)岡城技術士事務所 所長 岡城 孝雄

### 生活排水処理システムを理解し、災害に備える

- ・生活排水処理システムを理解する(公害対策から環境対策へ)
- ・災害に対する脆弱性と復旧までの道のりを理解する
- ・被災から短時間でしなやかに回復するシステムが重要

## プログラム2 (講師)日本トイレ研究所 代表理事 加藤 篤

### どうする!災害時のトイレ

- ・能登半島地震のトイレ事情
- ・トイレ問題から発生する健康被害
- ・家族と住民を守るトイレ対策

## プログラム3 (講師)第一環境管理センター 代表取締役 根本 正

### 溜まる汚泥(し尿、汚物等)の処理

- ・汚泥の収集運搬を担うバキューム車
- ・環境に配慮され開発された汚泥濃縮車

環境破壊の弊害ともいえる大雨や干ばつ、**頻発する地震などの自然災害**。今年1月の能登半島地震発生以降、8月には気象庁が初めて「南海トラフ地震臨時情報」を発表しました。いまや災害はどこで起きてもおかしくない状況であり、**必ず起こる大災害**への対策として日頃からの備えが必要です。もちろん**水や食料の備え**はとても大切です。しかし、実は災害発生時の**トイレ対応が深刻な問題**であることはあまり知られていません。また、能登半島地震では、電気や水道、生活排水処理などのライフライン復旧が遅れ、中でも下水道復旧の大幅な遅れが問題視されました。**ライフラインを速やかに復旧**するには、**しなやかに回復するシステム**を構築することがとても重要になってきます。

災害発生時、自宅でも避難所でも困らない為に、排水処理・トイレ衛生の専門家を招き、近い将来必ず起こる**大災害への備え**について考えたいと思います。

## プログラム1 生活排水処理システムを理解し、災害に備える

1980年、(財)日本環境整備教育センター入団、35年にわたり浄化槽管理士、浄化槽設備士などの国家資格取得機関グループリーダーとして、浄化槽技術の向上と関係技術者を養成。また、調査研究部門では、浄化槽の技術開発、汚水処理の普及・啓発活動に努める。2016年に岡城技術士事務所を設立し、排水処理施設などの汚水処理、汚泥処理に係るコンサルタントを行う。近年は、関係機関や浄化槽検査委員会の技術顧問として、全国各地の老朽化や自然災害によって破壊され機能不全となった施設に対する原因追究と改善策を講じ、国内の水環境保全に尽力する。

### ■委員歴等

汚泥肥料の規制のあり方に関する懇談会委員（農水省）  
全国合併処理浄化槽普及促進市町村協議会専門委員会委員  
日本農業集落排水協会型施設設計指針等検討委員会委員 ほか

### ■おもな執筆

浄化槽管理士、浄化槽設備士等 各テキスト  
「生活排水処理システム」技報堂出版 共著 など



岡城技術士事務所 所長 岡城 孝雄  
博士(工学)/技術士(衛生工学部門)



特定非営利活動法人 日本トイレ研究所  
代表理事 加藤 篤

## プログラム2 どうする！災害時のトイレ

愛知県生まれ。まちづくりのシンクタンクを経て、現在、特定非営利活動法人日本トイレ研究所代表理事。災害時のトイレ・衛生調査の実施、小学校のトイレ空間改善、小学校教諭等を対象にした研修会、子どもたちにトイレやうんちの大切さを伝える出前授業などを展開している。「災害時トイレ衛生管理講習会」を開催し、災害時にも安心して行けるトイレ環境づくりに向けた人材育成に取り組んでいる。

### ■委員歴等

日本トイレ大賞（内閣官房）審査委員  
徳島県災害時快適トイレ計画策定委員（徳島県）  
東京都防災会議専門委員（東京都）ほか

### ■おもな著書

『トイレからはじめる防災ハンドブック』2024  
『もしもトイレがなかったら』（少年写真新聞社）2020  
『うんちはすごい』（株式会社イーストプレス）2018  
『うんちさま』絵本（金の星社）2011 など

ぎふ地球環境塾事務局 宛

## 大人のぎふ地球環境塾申込書

下記にご記入の上FAX又はメールにてお申し込みください。

申込日	令和 年 月 日
氏名	
住所	お住まいの市町村のみご記入下さい(例 海津市)
TEL/e-mail	

※ご記入いただいた個人情報は、本セミナー開催における確認のみに利用し、厳正に管理いたします。

### 【ぎふ地球環境塾の目的】

ぎふ地球環境塾は、岐阜県の県民環境の日(毎月第二土曜日)に、小学校4年生から6年生の児童とその保護者の方を対象に、年間12回の環境学習を行っています。

平成14年より開始し、地球温暖化や海洋汚染といった環境問題が自然界の生態系に及ぼす影響や、わたくたちの生活に欠かせない物流、経済との関わりの中で、いかに環境を守っていくのか、また、自分たちに何ができるのか、何をすべきなのかを、親子で考えながら、学んでもらい、次世代を担う子供達を育てることを目的としています。



ぎふ地球環境塾HP